



すずかけの木

学校教育目標

- こころの豊かな子
- すすんで学ぶ子
- たくましい子

激暑の中での林間学校

校長 たかの あきひと 高野 明人

夏の風物詩と言えば高校野球(甲子園大会)もその一つです。今年も激暑の中で球児たちが白球を追っていました。ついテレビ放送を見てしまいますが、試合の合間に過去の激闘の記録が紹介されます。すべて記憶にある我を省みて、まさに光陰矢のごとであります。昔の夏はこんなに暑くはなかったような気がします。

さて、その激暑の中で、8月2日(火)～3日(水)に5年生林間学校が実施されました。本校の5年生は元気いっぱいです。校長が引率しましたので、内容を少し報告させていただきます。



まず、初日の地蔵岳登山ですが、今年は去年の倍の1時間の登りです。樹林の中を大汗かきながら全員が登頂成功、山頂から美しい大沼を眺めました。(凄い)下山後昼食を食べて、国立赤城青少年交流の家に入り、体験学習の箸づくりです。かんなが重くて、多少難儀しましたがコツを掴むと早いもので、皆立派なオリジナル箸を完成させました。

食事は3食バイキングでした。つつい盛ってしまいがちな大人と違って、児童は謙虚です。コロッケとご飯だけ、ハンバーグとご飯だけなどの児童もいました。対照的にソフトドリンク飲み放題は大人気でした。



夜はキャンプファイヤーです。山麓の施設ですから、専用サイトがあるのではと思っていましたが、駐車場のようなアスファルトの広場がファイヤーサイトに変身することに驚きました。さすがは5年生、どこからその元気が出てくるのというくらい盛り上がっていました。



2日目は午前中を使いアドベンチャーラリーです。簡単なオリエンテーリングかと思っていましたが、大間違いで、道なのか獣道なのかわからないジャングル(雑草帯)の中でのゲームでした。2時間近く歩き回った児童と校長は登山より疲れているように見えました。(特に校長)

このように、普段の学校生活ではできない貴重な体験ばかりでした。そして、期待通りに元気に2日間の学習を終えた5年生は何より素晴らしかったです。体調不良者なしで帰校できたことは10月の修学旅行に大いにつながると確信します。新学期もこの5年生のように全校生徒が元気に明るく、学校生活に臨んでほしいと思っています。



topics(とぴくす)

◎8月20日(土)親子除草に御協力いただきましてありがとうございました。

◎学童保育が7月下旬から校舎内(旧にここルーム)に移転しています。

◎出欠連絡のオンライン化に御協力いただき感謝いたします。順調に機能しております。